



没後30年

—— 栃木県真岡市所蔵 久保コレクション

久保貞次郎とは何者だったのか？

久保と作家たち久保家 群次別年1959年
前列左から尾崎正教、高橋久保貞次郎、磯辺久その後の池田清夫
後列左から島崎清海、オサト、シンプ、木村利三郎、岩瀬久、高橋信子

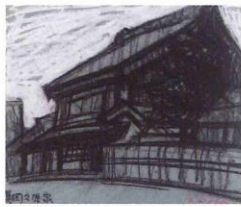


久保貞次郎は栃木県足利市で生まれ、同県真岡市の資産家久保家に婿入りします。杉田秀夫（後の瑛九）との出会いをきっかけに美術の道に進み、大人が子どもにも美術を教えるのではなく、子どもの自由な表現を認める「創造美術運動」や、一般の人が美術品を買い、気軽にコレクターを名乗ることを勧める「小コレクター運動」、そして芸術家への支援など、美術と社会をつなぐ様々な活動を行いました。

こうした活動を通じて久保が購入・収集してきた絵画などのうち、1500点以上が没後に「久保貞次郎コレクション」として真岡市へ寄贈されました。生涯をかけて集められたコレクションは、まさに彼の人生そのものです。本展ではその足跡をたどりながら、久保コレクションを4章構成で展示します。作品を通して彼の多彩な活動を知っていただき、その人物像やレガシー（遺産）に想いを馳せていただくと幸いです。



北川民次(久保貞次郎肖像)1949年

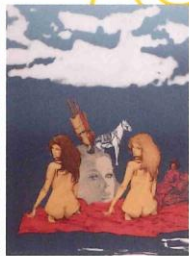


小野忠重(真岡久保家)制作年不詳

KUBO COLLECTION



ヘンリー・ミラー(北アフリカ風)久保エディション)1974年



池田清寿夫(笑って!)1970年



瑛九(顔 B)1954年



関根伸夫(絵空事-鳥居)1975年



木村利三郎(City 194)1974年

クボテーさんの
お気に入り



利根山光人(ブルドーザ)1955年



ヘンリー・ミラー(行列)(原画)1955年



元永定正(ふにゃらくにゃら)1979年

期間中の関連イベント

シルクスクリーンで蔵書票をつくろう！

- ①7月25日(土) 13:30~16:00
- ②8月22日(土) 13:30~16:00 または
8月23日(日) 9:30~12:00 ※全2回
- 会場：古川郷土民芸会館 工房
- 講師：笠嶋暢子氏
(金沢湯涌創作の森 シルクスクリーン工房講師)
- 参加費：500円 ※要申込(定員10名)

テンペラ画を描いてみよう！

- 8月2日(日) 10:00~16:00
- 会場：古川郷土民芸会館 工房
- 講師：高城ちひろ氏(画家)
- 参加費：500円 ※要申込(定員15名)

ちょっと身近な 街クラシック 飛騨市美術館

- 8月12日(水) 17:00開演(16:30開場)
- 会場：飛騨市美術館 第一展示室
- 出演：金木博幸(東京フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者)ほか
- 観覧料：無料(申込不要)

アクセス ■JRにて、高山本線「飛騨古川駅」下車、跨線橋を渡り徒歩5分。富山よりJR高山本線・特急で約1時間15分。名古屋よりJR高山本線・特急で約3時間。
■お車にてお越しの場合は、市営飛騨古川駅東駐車場をご利用ください。■東海北陸自動車道、清見ICより卯の花街道を通り約30分。

飛騨市美術館

Hida City Museum

〒509-4221 岐阜県飛騨市古川町若宮2-1-58 TEL.0577-73-3288



Google Map

